

四月の文楽

堂々豪華 文楽を誇る 並べたて 総て演出 瑠璃浄形

四月一日初日

初日二時開幕・毎日三時開幕

碁太平記白石噺

吉原揚屋の段

○先代南都大夫十三回忌に因みて追善上演

鶴澤友次郎作曲

弘法 大師 いろは物語

貧女の一燈の段 高野山万燈會の場

○新節付による古曲復興の意氣高き絶品

義經千本櫻

壽し屋の段 道行初音の旅路

○作は珠玉の名品演ずるは一代の名匠津太夫

紙子仕立両面鑑

大文字屋の段

○語り出さるゝその人情味我等が春の絶佳の宴

増補大江山

戻り橋の段

○名だたる名品を爰に新らしき節調の美

初日割引の料金

一等椅子席 金二円

二等席 金一元

三等席 金五十五

一等お座席 金二円五十

二日目よりの料金

一等椅子席 金三円

二等席 金一元五十

三等席 金八十五

一等お座席 金三円五十

壹等番號付指定券

前賣切符發賣

五日前より申込出來ます

専用電話南四七壹壹

二十人様以上お氣輕に

お樂みの

文樂座の御宴會

一人様分 金五円也

觀劇・食事・番付・寫眞つき

文樂座 橋ツ四



◇ L断石白の樂文 ◇

鮎屋 變痴氣論

山口 廣一

A 君、今晚は大阪の歌舞伎座から「鮎屋」の舞台中繼があるよ

B さうか、だが生憎く「鮎屋」は僕の嫌ひな芝居の一つなんだ

A どうして？ あれは君竹本劇でも傑作中の傑作だよ

B 傑作かどうか知らないが、この芝居の登場人物は僕の氣に入らない半面を持つてゐる人達ばかりなんだ

A といふ意味は？
B まづ第一は主人公の

權太だが、この男が善に目覺めるは大いに嘉すべしとしても、そのため細君の小

仙や子供の善太を犠牲にするのは却つて許しがたき惡徳サ

A 變な理窟をつけたものだね……では、梶原は？

B 梶原は氷のように冷徹な皮肉屋だ、最初から維盛を助けてやる意圖があるなら、なにもあゝまで鮎屋一家族を窮地に陥れなくともよかりさうなものだ、

その結果は彌左衛門の誤解

を生んで可哀さうに權太は無意味に命まで棒に振つたぢやないか、梶原は實に恐しい一種のサヂストだよ

A では、お里は？
B お里だけは少し意味が違ふんだ、美男維盛に寄せた彼女の思慕はどこまでも偏りのない純真さだつた

然もその戀愛は見事失敗に終つてゐる、作者はこの悲戀にモット同情ある筆を吝むべきではなかつた、だが

それも「雲井に近き御方」には鮎屋の娘など戀愛出來ないといふ階級觀は勇氣がなすぎ

A 随分きびしいんだねでは好々爺の彌左衛門は？

B なるほど彌左衛門は

好々爺だ、でも自分の娘の貞操を維盛への一つの奉仕と考へてゐるような態度はどうだらうか

A 君の論法からすると維盛などは貞操蹂躪とてもいふんだらう

B 大いにその通りだよ

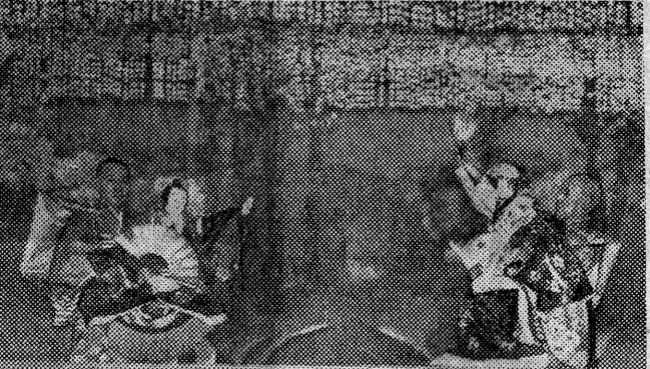
A とに角、君の説にも一理はある、だが、さうした物の見方で行くと、竹本劇など、全然根底から覆つてしまふ、古典中の人物を現代人の自由主義的な潔癖さで評價するのは暴論だよ

B どうして？
A どうしてツて君、竹本劇は歪んだ封建思想が羅馬法皇の教權のように磐石の永劫性と桎梏を誇つて

ゐた時代の産物だぜ、この點を考慮に入れない歌舞伎の觀劇態度はそれ自體自殺行爲だよ

B さうかなア……
A まア、今晚だけはそんな近代人らしい變んな感覺を捨てちやつて、おほらかに余裕ある氣持で放送を聞き給へよ、鷹治郎の權太や宗十郎のお里や福助の維盛が歌舞伎劇獨特の詩味と幻想美をエロキューションだけででも十分觀賞させてくれるに違ひない、この理窟のない夢のような美しさもたまにはわれわれの過敏すぎる神經を休めてくれる芳醇の一齋サ

B さうかなア……



〽戀と忠義は
いづれが重い
かけて思ひは
はかりなや、
忠と誠の武士
に君が情けを
あづけられ静
かに忍ぶ都を
ば後に見捨て
旅立ちて、つ

吉野山道行

くらぬなりも
經の、御行
末は浪速津の
波にゆられて
たゞよひて、
今は吉野の人
づての、噂を
道のしをりに
て、大和路さ
して慕ひゆく